

静岡交通ニュース

◆◆◆バス車内での転倒事故に注意！！◆◆◆ ～バスが停留所に着いて扉が開いてから席を立ちましょう～

皆さんの身近なバスは、通勤・通学や買い物・通院等に多く利用され、また環境にもやさしい、住民の足として生活に欠かせない公共交通としての役割を担っています。

バスの車内事故の被害者は、65歳以上の高齢者が過半数を占めているものの、高齢者以外の方も約3割と多く、「車内事故＝高齢者の事故」ではなくなってきています。また、事故発生時のタイプを見ると、立席時及び車内移動中の事故が全体の約半数を占めています。一方、着座時の事故も同じく全体の3割弱を占めているなど、いかなる場合においても事故が発生しています。

そこで、国土交通省静岡運輸支局と一般社団法人静岡県バス協会は、車内事故の防止を図るため、令和5年7月1日(土)から7月31日(月)の間、「バス車内事故防止キャンペーン」を実施します。以下の点に注意して、バスを安全に利用しましょう。

【バス利用者へのお願い】

転倒を防止するため、

- ◎降車の際は、バスが停留所に着いて扉が開いてから席を立ちましょう。
- ◎満席時など、席を立っている場合は、つり革や握り棒にしっかりつかまりましょう。

バスの車内事故防止に、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

「バス車内事故防止キャンペーン」に関する問合せ先

一般社団法人静岡県バス協会 電話番号：054-255-9281

